

奄美図書館だより

平成26年6月1日発行
第276号(6月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244

HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

「本も友だちおはなし会」

4月27日(日)に「本も友だちおはなし会」を行いました。
午前と午後の部合わせて197名の親子のみなさんが来場されました。「子どもたちが本ともっともっと仲良しになれるように」「読書に親しみきっかけになりますように」という願いから、この「本もともだちおはなし会」は始まりました。奄美図書館ボランティアとして「あまみ子どもライブラリー」、デイ FM 土曜日読みむんマンディ絵本の読み聞かせ担当の原恵子さんの協力をいただき、手遊び歌やパネルシアター、大型紙芝居、しかけ絵本等の多くのおはなしでいっぱい時間となりました。お話の世界をたっぷり楽しむ子どもたちの姿と笑い声で、奄美図書館全体が明るくなった一日となりました。



こどもの読書週間企画展

4月20日～5月11日の「こどもの読書週間」の期間中、「奄美図書館 大きなあれ、おはなしの木」というテーマで企画展を行いました。次の世代を担う子どもたちにすすめる本を来館した方に紹介してもらい、館内に設置した「おはなしの木」に貼ってもらいました。また、今回で56回となる「こどもの読書週間」の歴代ポスターと標語を展示しました。幼少の時から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知ることは、とても大切なことです。「心から好きな本に出会えますように」という願いをこめて展示し、無限大の可能性を秘めた子どもたちに見てもらおうことができました。



おはなし会へどうぞ!

県立奄美図書館では、絵本等の読み聞かせ、手遊び歌等で楽しむ「おはなしの森」を毎週水曜日に行っています。また、「あまみ子どもライブラリー」さんや「おはなしさんぽ」さんによる読み聞かせも定期的に行われています。本を通して、みなさんが楽しめるように、県立奄美図書館でのおはなし会の充実を図っていきたく考えています。絵本は大人も楽しめます。ぜひ一緒にお楽しみください。

毎週水曜日 午後3時30分～ 奄美図書館職員(乳幼児対象)
第3土曜日 午前10時～ あまみ子どもライブラリー
(乳幼児対象)
第1土曜日 午前10時30分～ おはなしさんぽ

土曜日開催のおはなし会は、各月の行事をご覧ください。

ネリヤカナヤ創作童話コンクール ～奄美っ子の夢やロマンがあふれ出る～

ネリヤカナヤ創作童話コンクールは、平成15年の奄美群島日本復帰50周年を契機に始まり、今年で11回目を迎えます。

県内でも例のない、子どもを対象とした創作童話コンクールとして、大島地区内の児童・生徒から、これまでに3,354点もの応募がありました。

豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちの創作童話は、奄美の伝統を継承し、新たな創造へとつないでいこうとする文化の芽吹きです。

6月6日から、奄美図書館に実施要項を置き、また、ホームページでも実施要項等をご覧いただけます。多くの子どもたちの豊かな心を感じる作品の応募をお待ちしています。



お知らせ

「世界遺産」コーナー設置!

奄美図書館では、よりたくさんの方々に、世界自然遺産登録についての気運を高めていただくため、関連本はもちろん、国・県・市町村の取組をパネル・映像で紹介する「世界遺産」コーナーを設置しました。

○期日 平成26年5月28日(水)～

○場所 奄美図書館 2階閲覧室

○内容 世界遺産に関する図書資料やパネル展示等

あまみならでは学舎 2

○日時 平成26年6月21日(土) 14:00～15:30

○場所 奄美図書館 4階研修室

○内容 演題 「健康づくり」

講師 名瀬保健所 久保 倫子 氏

※ お問い合わせは、奄美図書館まで。

〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1

TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

あまみならでは学舎開講

今年度の生涯学習講座「あまみならでは学舎」が5月17日に始まりました。

1時間目となるこの日は、開講式のあと、「世界自然遺産登録に向けて」と題して、大島支庁の吉田健一さんに講話をしていただきました。

世界自然遺産登録を目指す奄美群島にとって、世界自然遺産登録のメリットや課題、「オール奄美」での取組の重要性など、大変意義ある講座となりました。今年度は世界自然遺産に向けた取組の一環として自然関係の講座が3回行われることになっています。



「あまみならでは学舎」は、生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るために、今後も多彩な内容を予定しています。受講を希望される方は、電話、FAX、または来館してお申し込みください。

6月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
6	1	日	図書館ボランティア養成講座
	2	月	休館
	4	水	おはなしの森 15:30～16:00
	5	木	鹿児島県図書館協会奄美支部総会
	7	土	おはなしさんぽ 10:30～
	8	日	読み聞かせと新聞づくりを楽しむ会
	9	月	休館
	11	水	ネリヤカナヤ創作童話コンクール募集開始 おはなしの森 15:30～16:00
	16	月	休館
	18	水	おはなしの森 15:30～16:00
	21	土	あまみならでは学舎 14:00～15:30 あまみ子どもライブラリーおはなし会 10:00～11:00
	23	月	休館
	25	水	休館（整理研修）
	30	月	休館
7	12	土	ふしぎ探究塾（大浜海浜公園）
	13	日	読み聞かせボランティア養成講座
	19	土	あまみならでは学舎
	25	金	大島地区読書指導者等研修会（天城町）

7月の休館日予告

7日(月)・14日(月)・22日(火)・28日(月)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

ヤンバルクイナ

江口 欣照

小学館

まるごと日本の世界遺産

増田 明代

講談社

かしの木の子もりうた

ロバート・マンチ

岩崎書店

新しい発達と障害を考える本 1

ミネルヴァ書房

あしたえんそく！

武田 美穂

ポプラ社

ボクのじてんしゃ

きむら ゆういち

芸術新聞社

その他54冊

郷土関係

美しく不思議なウミウシ

今本 淳

二見書房

奄美方言入門

浜田 敬助

南方新社

その他7冊

おすすめの本

かないくん

谷川 俊太郎

東京糸井重里事務所

同じクラスの金井くんが亡くなったのは、60年以上も前のことです。そのことを思い出して、絵本を描き始めたおじいちゃんは、まさに今、死と向き合おうとしています。短く、簡単な言葉でお話は、淡々とすすんでいきます。でも、その言葉の一つ一つに深い意味が隠されているようで、何度も読み返したくなる絵本です。このお話の中で、作者は「しぬって、ただここにいなくなるだけのこと？」と静かに私たちに問いかけているようです。

一般

世界遺産富士山に行く！

藤井 勝彦

メイツ出版

歴史文化を大災害から守る

奥村 弘

東京大学出版会

言語活動が充実するおもしろ授業デザイン集

糸井 登

学事出版

その他181冊

小説・随筆

いくつになっても

渡辺 淳一

講談社

祈りの証明

森村 誠一

KADOKAWA

物書きのたしなみ

吉行 淳之介

有楽出版社

語りつぐ者

パトリシア・ライリー・ギフ

さ・え・ら書房

その他26冊

進学・ビジネス支援

従業員をやる気にさせる7つのカギ

稲盛 和夫

日本経済新聞出版社

その他4冊

いまこそ、沖縄

～沖縄に親しむ50問50答～

行田 稔彦

新日本出版社

沖縄の自然、文化、歴史についての50の質問とそれに対する答え、という形式で書かれています。例えば、「沖縄の四季は『夏・夏・夏・冬』だってホント？」「桜前線は北上するけど、沖縄では南下するってホント？」といった、ちょっとにわかには信じがたい質問や、「薩摩はなぜ琉球を侵略したの？」といった歴史にまつわる質問などが載っています。小中学生向けの図書ですが、大人が読んでも十分読み応えのある内容になっています。「沖縄を知る入門書」と言える1冊です。